

# 回答書

件名：ICT 支援員業務委託

担当課：学校教育課

回答日：令和8年1月22日

質問	回答
<p>仕様書4. 支援内容（4）ICT支援員による業務 ③環境準備支援 「五條市が採用するデジタルドリル 「ミライシード」の年次更新作業については業務指示書（手順書）に即して支援すること。」 →上記の記載がありますが、年次更新を滞りなく円滑に実施するためには、ICT支援員は「ミライシード」提供事業者から年度更新に関する研修を受講する必要があると考えていますが、教育委員会様の想定を教えてください。</p>	<p>手順書に即して支援するにあたり、「ミライシード」の内容を十分に把握している必要があるため、場合によっては研修を受講していただく必要があります。</p>
<p>仕様書5. 業務を円滑に進めるための基盤・仕組み 「・受託者は、主体的・対話的で深い学びに繋がる授業づくり支援の実現のため、教員の発問に関連するガイド等（※）と連動した指導事例の提案を行うこと。 ※ガイド等については、大学教授などの有識者監修のものであること。」 →大学教授などの有識者監修による指導事例提案の実績が既にあり、質の高い授業支援を実施する必要があるという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
<p>仕様書5. 業務を円滑に進めるための基盤・仕組み 「・教員を対象としたICT支援員の業務に係るアンケートを1年に1回実施すること。アンケートは「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた分析</p>	<p>ご認識の通りです。 なお、本市の前年度比については、初年度には前事業者から引き継いでいただく等の対応をしていただきたいと考えています。</p>

<p>ができるアンケート内容であること。」</p> <p>→本アンケートは「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた分析ができるアンケート内容である必要があり、全国比・昨年度比を含め分析した上で次年度の支援提案まで含めて行う必要があると認識していますが、よろしいでしょうか。</p>	
<p>仕様書6. 支援員の要件及び配置</p> <p>「・支援員が備えるべき知識、スキル、経験、教職員及び児童生徒への対応力等の多角的な観点から、支援員を評価する具体的な基準を策定していること。また、定期的な評価を実施し、支援員個々の強みや課題を明確にするプロセスを有していること。」</p> <p>→受託時には、上記の評価基準を有していることを、教育委員会様に提示する必要があるという理解をしていますが、相違ありませんでしょうか。</p>	<p>こちらから求めた場合にはご提示いただきますよう、ご準備をお願いします。</p>
<p>仕様書6. 支援員の要件及び配置</p> <p>「・学校で情報漏洩、ハラスメント等の問題行動を起こすことがないよう、受託者がICT支援員を選任する過程で、コンプライアンス遵守に関する適性検査を実施する等により、問題行動を起こすリスクの低いICT支援員が選任される仕組みがあること。」</p> <p>→受託時には、上記の適性検査を有していることを、教育委員会様に提示する必要があるという理解をしていますが、相違ありませんでしょうか。</p>	<p>こちらから求めた場合にはご提示いただきますよう、ご準備をお願いします。</p>
<p>仕様書8. 受注要件</p> <p>「・受注者は、年度当初からスムーズに支援ができるよう、前委託者からの引継ぎを依頼し、完了させること。」</p> <p>→引継ぎは3月内には完了させる必要があると認識していますが、担当支援員が直接引継ぎをおこなうという認識で相違ないでしょうか？また、そのためには、引継ぎ実施より前に、各学校の担当支援員の配置を決定しておく必要があると考えていますが、相違ないでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>

<p><b>仕様書8.受注要件</b></p> <p>「・引継ぎには、「1年間の活動計画の共有」、「導入機器、導入ソフトの使い方」等が含まれ、半日から1日を要すること。なお、引継ぎに係る費用は、受注者が負担すること。」</p> <p>→学校現場に混乱をきたさないように引継ぎ業務を確実に遂行する必要があると考えています。受注者は、引継ぎ業務に係るスケジュールと費用を、教育委員会様に事前に明確に示す必要があるため、その根拠となる資料を契約前に提示する必要があると考えますが、相違ないでしょうか。</p>	<p>委託期間は令和8年4月1日からですが、契約の締結は開札後ただちに行う必要がありますので、ご質問の内容は契約日以降となります。</p>
<p><b>仕様書8.受注要件</b></p> <p>「・引継ぎには、「1年間の活動計画の共有」、「導入機器、導入ソフトの使い方」等が含まれ、半日から1日を要すること。なお、引継ぎに係る費用は、受注者が負担すること。」</p> <p>→各校の支援ニーズが多様なため、学校ごとに十分な引継ぎ業務が必要になると想定されます。支援員業務の引き継ぎに係る費用は、既存業者分も含め受注者が負担するという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識の通りです。</p>
<p><b>入札参加資格について</b></p> <p>入札公告の中に、公告日現在業者登録がある者。と記載がございますが、弊社は奈良県内に拠点を置く事業者ではありますが、現時点で五條市様に業者登録を行っておりません。本業務の遂行にあたり、県内他自治体での実績や県域ネットワーク環境への知見を活かして貢献したいと考えておりますが、速やかに随時業者登録申請を行う等、入札への参加を認める措置をお願いすることは可能でしょうか？</p>	<p>入札公告日までに本市の業者登録を完了していただく必要があります。</p>
<p><b>資格要件について</b></p> <p>業務委託仕様書内に、教育情報化コーディネータ3級以上を保有している者が複数名在籍していること。と記載がございますが、当該試験は年1回の実施であり、即時の資格者確保が困難な状況です。つきましては、</p>	<p>仕様書に記載した資格について現時点で資格を有していることを要件としております。そのため代替は不可となります。</p>

- ・初年度中に当該資格取得を行う。
  - ・奈良県内の ICT 環境や、ゼロトラスト、新校務支援システム GG について、熟知していること。
- 等で、代替いただくことは可能でしょうか？